

見えている画面から画像や文字を取り出す方法

インターネット上でいろんな情報を調べる場合そのまま印刷でもいいのですが、データとしてパソコン内に残したいとか自分流に編集したいと思うことはありませんか。

そんな場合従来はPrint Screenをペイントに貼り付けるハードコピーという手法を使ってきました。

それを簡単に実施する便利なソフトができました。Snipping Tool という名前で Vista (vista home basic は除く) 以降の機種 Windows7 では Home Premium、professional、Ultimate に標準装備されています。

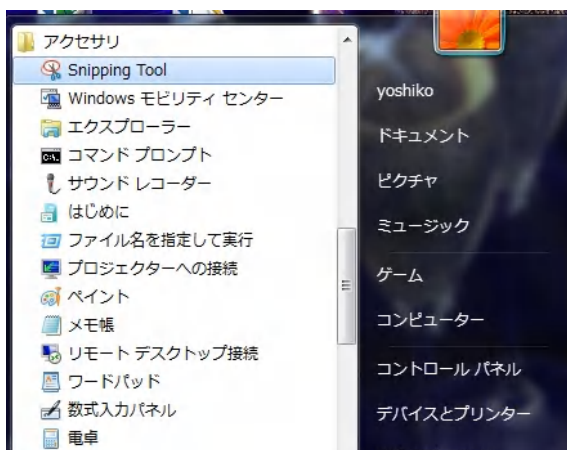
今回はそのソフトを使って画像のキャプチャを体験します。

Snipping Tool の特徴

- 画面の一部分だけを確認しつつ簡単に切り取りできる。
- 手書きの書き込みができて画像として保存できる。
- 作成した画像を直接メールで送信できる。

Snipping Tool を開く

「スタート」から「すべてのプログラム」「アクセサリ」と進む
「Snipping Tool」(以下ソフトと表示) をクリックして開く
デスクトップ全体が白っぽくなりソフトが表示される
Esc キーを押して選択を解除し、タスクバー上で待機状態にする



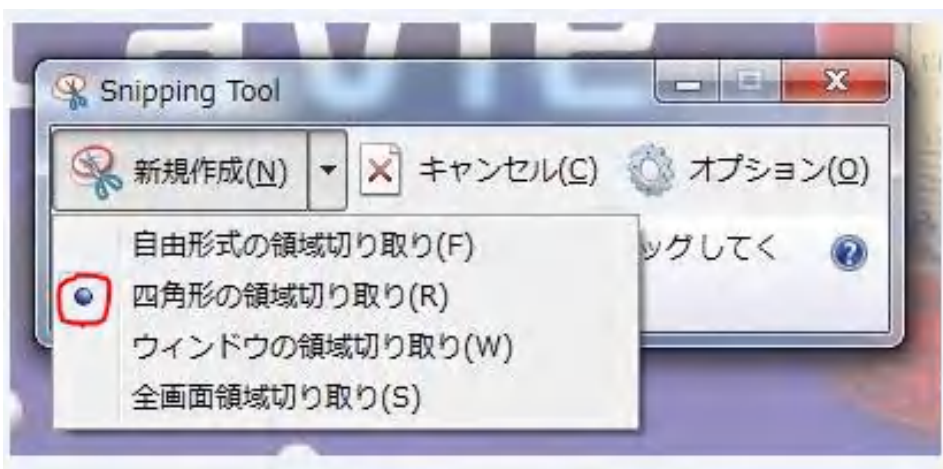
画像をキャプチャする

四角、全画面、フリーハンドのいずれでも切り取れますが今回は四角で切り取ります。

- ・まずデスクトップ画像を取り込むことにします。
- ・タスクバーにあるソフトのボタンをクリックする。

画面が白っぽくなったらソフトが起動されたことになり切り取り操作に入ります。

「新規作成」の右隣 ▼をクリックしてメニューから「四角形の領域切り取り」をクリック
表示された十字のカーソルで切り取りたい範囲をドラッグして選ぶ



- ・ソフト内に選択した画像が鮮明に表示されます。
- ・ツールバーの「切り取り領域の保存」をクリックして「名前をつけて保存」から保存先「デスクトップ」ファイル名「Top」ファイル形式「JPG」で保存。

切り取り選択中と選択後切り取られた画像です



このソフトが出るまではPrint Screenで画像を取り込み、それをペイントに貼り付けていました。Snipping Toolではその工程が省略されて切り取りからできるようになりました。今回はソフトの一部しか使っていませんがまだまだ多くの可能性を秘めた楽しいソフトです。

このソフトを使って卓上カレンダーをつくってみましょう。実習では操作を色別にご書いてありますので分からない場合は上に記載されている同じ色の囲み説明を見てください。

実 習

カレンダーを作る

今回使用するカレンダーはwordテンプレートです。そのままの形でサイズを小さくするのは困難です。しかし、Snipping Toolを使って画像に変換することでサイズ変更や縦横比率変更が容易にできるようになります。

1. デスクトップ上の実習フォルダをクリックし、カレンダーを開き最小化しておく。
2. **ソフト (Snipping Tool) を起動し待機状態にしておく。**
3. カレンダーを最大化し4月が全て見えるように表示する。
4. 待機中のソフトを開き**「四角形の領域切り取り」**を選びカレンダー4月を切り取る。
5. 切り取ったカレンダーを「名前は4月」「ファイルの種類はJPEG」でデスクトップに保存する。
6. 3. 4. 5を繰り返すことで12月までのカレンダーができます。(今回は4月のみ)
7. デスクトップ上、実習フォルダの中にある「用紙」を開く。
8. 「挿入」から「図」→「デスクトップ」と進み保存しておいた4月のカレンダーを開き挿入する。
9. 挿入したカレンダーをクリックし「図ツール」の「書式」をクリックする。
「文字列の折り返し」より四角を選ぶ。
「色の変更」より「透明色を指定」をクリックしたのち挿入したカレンダーの空白部分をクリックして透明化する。
この操作でカレンダーの線、文字以外が透明になり背景の透かし画像が見えるようになる。

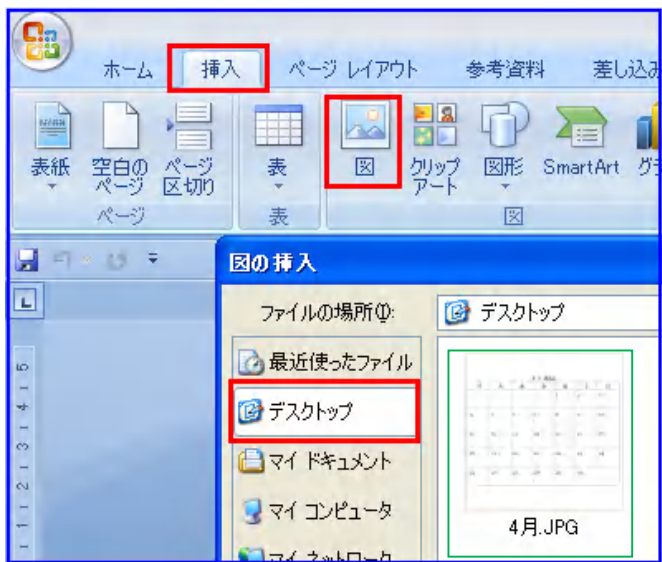
カレンダー完成品



操作画面

8. 画像

赤四角で囲まれた部分を確認します。デスクトップが開いているのでその4月カレンダー（ここでは緑四角で囲んでいる）をクリックして挿入を押します



9. の画像

赤四角で囲まれた部分を操作します。確認しましょう。

